

新聞づくりを通して

海と島でできた日本を学ぼう!

『うみやまかわ新聞』プロジェクト レポート

6852の島からなる日本には、世界6位規模の広い海や、たくさんの山や川があり、島ごと、地域ごとに異なる多種多様な自然があります。2014年秋、離島経済新聞社ではそんな島国に暮らす小中学生と、新聞づくりを通して「海と島でできた日本を学ぶ」プロジェクト(事業名称:日本財団海洋教育促進プロジェクト 海と地域のつながりを見つける『うみやまかわ新聞』の制作事業)をスタートしました。

第1期『うみやまかわ新聞』プロジェクトには5地域、総勢27名の小中学生と現地コーディネーター5名が参加。生徒たちは、各地域にある「うみ」「やま」「かわ」に関するものごとを集めて、全国に紹介する新聞づくりを担当し、離島経済新聞社の編集長、編集スタッフ、カメラマンをはじめ、専門家が講師となります。

新聞づくりのねらいは、日本各地をつなぐ「水のつながり」を知ること、広い海に囲まれた島国の中にある「自分の地域」と「よその地域」の「違い」や「つながり」を知ること、地域と東京、地域と地域など、遠く離れた場所に暮らす仲間とコミュニケーションを取るためにインターネット(ICT技術)を活用すること、新聞づくりの行程をプロに習うことなど。どんな新聞づくりが行われているか、9月から11月にかけて行われたプログラムの様子をレポートします。

利尻島 / 北海道



日本の北端にある利尻島は「利尻こんぶ」をはじめウニやアワビなどの海産物が獲れる島。島の中央には1,721mの利尻富士がそびえ、多様な生物が暮らす山や沼があります。

人口 5,039人
(H26.9月末 利尻町、利尻富士町合計)
面積 182.19km²

檜原村 / 東京



東京都の本土側で唯一の村。標高1,000~1,500mの高地にある林業が盛んな村には、日本の滝100選に選ばれる「払沢の滝」があり、東京の源流となる美しい水が湧き出ています。

人口 2,406人
(H26.9月末 檜原村)
面積 105.42km²

参加地域

弓削島 / 愛媛県



瀬戸内海の中央に位置する弓削島は、岩城島、生名島、魚島などからなる上島町に属する島。島には商船高等専門学校があり、船乗りが多く「造船」が盛ん。

人口 7,405人
(H26.9 上島町合計)
面積 30.42km²
(上島町合計 ※内、弓削島は8.68km²)

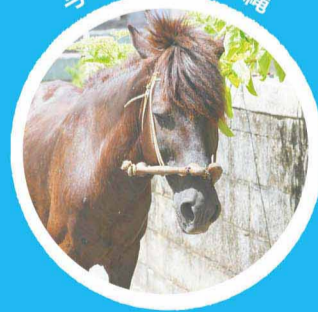
中津江村 / 大分県



九州北部の中央に位置する中津江村は、日田市に属する山間地域。地域内には貴重な原生林が残り、玄界灘にそそぐ筑後川の源流として美しい水が湧いている。

人口 911人
(H26.9月末 中津江村自治会合計)
面積 666.19km²
(日田市 ※内、中津江村は81.91km²)

与那国島 / 沖縄



日本最西端に位置する与那国島は、台湾までわずか111km。多種多様な生物が暮らす山、谷、川、湿地、海があり、独自の伝統文化が色濃く残っている。

人口 1,514人
(H26.9月末 与那国町)
面積 28.95km²

『うみやまかわ新聞』をつくろう！

9月から11月にかけて実施された『うみやまかわ新聞』の現地プログラムをご紹介します。



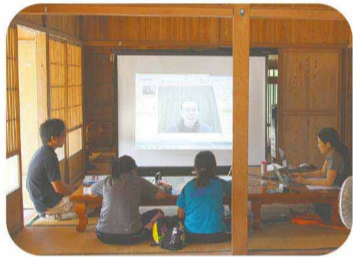
離島経済新聞社スタッフが各地を回り「どうして『うみやまかわ』なの?」「地球、日本、自分の地域について学ぼう」などをレクチャー。インターネットのテレビ会議システムを活用して、東京にいる編集長や講師陣も授業に参加します。

全国の人が目にする新聞をつくることになる生徒たちは、新聞づくりに入る前に「新聞ってなんだろう?」「メディアってなんだろう?」「編集の仕事とは?」とメディアや情報発信の基礎を学びます。たくさんの新聞を見比べる授業では「こんな新聞があるんだ!」という驚きの声も。



『うみやまかわ新聞』に掲載する記事を考えるため「うちの地域の特徴って何だろう?」「どんな生き物があるだろう?」「地域のお祭りにはどんな意味があるだろう?」と、それぞれの地域にある自然、文化、仕事など、暮らしているなかで気付かなかったこともしっかりと洗い出します。

たくさん挙げた内容のなかから新聞に掲載すべきものを選んだら、「割り付け」「担当」「取材の方法」をみんなで決めていきます。実際に取材を行うために「取材をお願いする方法は?」「どんなことを質問したらいいだろう?」「写真の撮り方は?」なども学びます。



いよいよ取材へ!それぞれの地域の「うみやま」「かわ」に詳しい人や、地域ならではの仕事に従事する人に取材を行います。同じ地域に暮らす大人が、知らなかった地域のことや、仕事のことを教えてくれる取材では、緊張しながらも楽しく進んでいきます。

日本の海が
思っていたよりも広がったことに
とてもびっくりした
(檜原村・小学6年生)

自分が暮らす地域の大きさ
などが分かり楽しかった
(弓削島・小学6年生)

自分の地域の特徴をみんなで考えていく作業では、
中津江は良いところがたくさんあるなと感じました
(中津江村・小学6年生)

さまざまところから会議
(テレビ会議)ができることに、
すごく驚きました
(利尻島・小学6年生)

子どもたちや 現地コーディネーターの声

テレビ会議がこんなに簡単に
臨場感をもってできることに驚いた
(中津江村・現地コーディネーター)

こんなにたくさんの島があることを知らなかった
(与那国島・小学6年生)

地域を見つめ直すことができ
子どもたちにとっても
再発見になったと思う
(檜原村・現地コーディネーター)

新聞の完成は2015年1月下旬。

続きは『離島経済新聞』ウェブサイトや、次号『季刊 ritokei』にも掲載します。